

2015年



■2015年4月12日(日曜日) 宮城県リーグ第1節 対多賀城FC

試合開始：12:00 (40分ハーフ) 宮城県サッカー場Cグランド

【結果】 3 – 0 で勝ち。

【得点者】 阿部(英), 一瀬, 阿部(英)

【アシスト】 茂木, 茂木

【スタメン】 GK : 残間諒

D F : 金田和鷹, 木村燎平, 蔡亮成, 林昂佑

M F : 松浦弘志, 三好就英, 千田遵

F W : 茂木淳, 阿部英次郎, 角田譲

【控え】 村岡優志, 遠藤巧, 平野渥郎, 一瀬裕司, 宮戸康平, 船橋富寿

【交代】 松浦弘志→遠藤巧, 三好就英→一瀬裕司, 林昂佑→宮戸康平, 千田遵→村岡優志

【警告】 なし

【ベンチ】 鈴木修平, 秋保盛樹, 吉田和朝, 船橋富寿, 嶺岸優, (佐藤遙香, 黒沼桃子)

【評】

2015年度宮城県リーグが開幕した。「春に三日の晴れ間なし」というが、昨日は雨、明日は天気予報では崩れるという、たまたま今日が快晴という運の良さだったようだ。

開幕戦に先立ち、8時50分から「開会式」が行われた。昨年は憲リーグに昇格したばかりで、よくわからなかつたが、欠席すると勝ち点からマイナス3されるようで、昨年これに抵触したチームが苦い思いをしたことは、想像に難くない。今年はスタッフ4名に加え、残間・金田・茂木・村岡の4君が参加してくれたおかげで事無きを得た。式では昨年「アシスト王」に輝いた才田君の表彰を受けた。

開幕本戦は、12時キックオフ。相手は多賀城FC、昨年は2戦して1勝1敗の相手だ。立ち上がり、お互い相手の力量を探りながら進行した。結構早いスピードと当たりで、息の抜けない展開が続く。前半4分と10分に、相手チームに決定的と思われるチャンスがあった。が、D Fとゴール・キーパーの好手で幸いにも得点にはならなかつた。東北クラブの方にも、何度かチャンスがあつた。新人の角田がキレの良い動きとドリブルで何度もシュートまで行ったが、相手D Fと競り合いながらのシュートはなかなか難しい。シーズン後半には、これが決まるこことを期待したい。

前半0–0、後半も34分まで0–0。このまま無得点で引き分けるか、どちらかが得点して勝負にけりをつけるかと思われた時、これまで何度もチャンスを作ってきた茂木が、中盤右でボールを受け、シュート気味のボールをゴー

ルへ蹴る。そのままだったらキーパーに渡り、終わつたかも知れないが、このボールに阿部(英)がタッチ、ボールはコースを変えゴールネット右隅を揺らした。

これで、一気に流れが東北クラブに傾いた。続く38分、後半から出場し、俊足ドリブルで相手DFを翻弄していた一瀬にパスが渡る。一瀬は、左サイドから一気に相手を置き去りにして、ペナルティエリア中央付近で勝負。右足で蹴られた強烈なミドル・シュートは、キーパーの反応を上回り、ゴール左へ突き刺さった。

更に39分、疲れの見える相手DFに対し、疲れの見えない茂木が、またしても右からセンタリング。ゴール前でDFに挟まれながらジャンプ、高い打点でジャストミートしたのは阿部(英)だった。強烈なボールはゴールネットにあつという間に吸い込まれていった。上げた方も、決めた方も素晴らしい、絵に描いたような得点であった。残り6分で3得点、3-0で開幕戦を飾ることができた。

今日の良かった点は、開幕戦にもかかわらず、のびのびとプレーできたことがあると思う。例年、開幕して1~2ヶ月は新しいメンバーとの意志疎通や連携プレーが確立するまで、また体が試合に慣れるまで時間を要していた。従って、開幕から2、3試合はある程度目をつぶってみるのが常である。今年も新しいメンバーが入り、いつもと同じ状況を想定していたが、初顔合わせのメンバーの組み合わせを感じさせない、見応えのある試合だった。新人と先輩がうまく噛み合い、チームとしてうまく機能するまでの時間は、いつもより短いかかもしれない。

(記：鈴木修平)

■ 2015年4月19日(日曜日) 社会人大会2回戦 対塩釜NTFCヴィーゼ

試合開始：11:20 (40分ハーフ) 色麻町愛宕山公園サッカー場

【結果】 5-0で勝ち。

【得点者】 茂木、茂木、蔡(亮)、遠藤、阿部(英)

【アシスト】 ○、○、阿部(英)、○、三好 (○: CKキッカー確認中)

【スタメン】 G K : 平野屋郎

D F : 茂木淳、金田和鷹、知場三周、林昂佑

M F : 角田譲、蔡亮成、松行柊人、三好就英

F W : 阿部英次郎、一瀬裕司

【交代】 40分 : 知場→遠藤巧、53分 : 一瀬→松浦弘志、60分 : 林→千田遵

【警告】 39分 : 阿部(異議)

【控え】 村岡優志、蔡優広、宍戸康平

【ベンチ】 秋保盛樹、吉田和朝、船橋富寿、嶺岸優

【評】

相手は昨季東北リーグ2部から県リーグへ降格し、戦力ダウンが傍目にも分かる状態。試合開始早々から双方の戦力差は明確で、特にフィジカル面での優劣は勝敗の行方に大きく影響すると思われた。

ところが、開始3分、こちらのゴール正面25mからの相手FKがバーを叩く。その後もやったりとした相手のパスワークに合わせるかのような試合の入り方で、序盤は相手のペースに。ベンチから見ると、相手DFラインのスピード不足は明らかで、単純に背後を狙うかスピード勝負のドリブル突破で十分打開できると思われるのだが・・・。判で押したようなクロスばかりでは、さすがに相手も中央を固めてくるため、攻略は難しい。

それでも12分、相手をゴールエリア内に押し込み、再三シュートを放つも決めきれない。

16分、左CKから松行がミドルを狙うも右に大きく外れる。17分には左サイドの崩しから蔡(亮)がミドルもわずかに左ポスト外側に。19分、またも左サイドからのクロスをニアに飛び込むもGKがキャッチ。相手の左サイドはどうみても狙い目となっていた。24分の一瀬がスルーパスに抜け出したのも同サイド。しかしGKまでかわして放ったシュートはサイドネットの外。再三再四の決定機を逃し続けると、との展開が苦しくなるのはよくあること。

しかし、こういう時はセットプレーが生きてくる。30分、左CKを茂木が完璧にとらえてついに先制。決まるときはあっけないもの。ところがまだまだ主導権を握り切れない。31分、こちらのDFラインは人数がそろっていながら、簡単に相手にミドルを許してしまう。32分、今度は蔡(亮)のミドルが枠をとらえるも、相手GKの好セーブでバーにはじかれてしまう。

こうなると、まともセットプレーのお世話になるしかない。33分、右からのCKに、さっきとはシンメトリーに茂木が2点目をヘッドで奪う。前半終盤でようやく一息つける状況となった。

39分、レフリーへの異議で阿部(英)が警告を受ける。余計なカードだったが、その後は自重して2枚目をもらってしまうことはなかった。

後半は、相手のペースが目に見えて落ちていったため、労せずして3得点を挙げて快勝することができた。48分、三好のクロスから阿部(英)が落として蔡(亮)の25mミドルが左サイドに突き刺さる。54分には右CKから途中出場のDF遠藤が豪快ヘッドを叩きこむ。締めは68分、松行のドリブルシュートが流れたところを、三好が再びクロス、最後は阿部(英)がヘッドでネットを揺らし、6点目を奪うことにして成功。

振り返ってみると、3点目が生まれた時点で試合の趨勢は決まったようなものだった。相手は明らかなコンディション不良というか調整不足のうえ、控え

が2名のみ。後半足をつる選手が続出し、スピードについていけない状態であった。このため、ラスト15分はワンサイドゲームとなり、プレスもない中で、フォーメーション練習でもしているかのような、観ているほうには退屈な試合だった。トーナメントということもあって、最後は相手も無理せず時間を消費したという感じではあった。とはいえ、シーズン2戦目を終えて8得点無失点は上々のスタートと言って良いと思う。次戦が期待される。(記：吉田和朝)

■2015年5月3日(日曜日) 天皇杯2回戦 対中新田SC

試合開始：12:00 (40分ハーフ) 松島フットボールセンター

【結果】 1 – 1 (PK 4 – 5) で負け。

【得点者】 一瀬

【アシスト】 (確認中)

【スタメン】 GK：平野屋郎

D F：茂木淳、金田和鷹、遠藤巧、林昂佑

M F：西村翼、蔡亮成、千田遵、三好就英

F W：阿部英次郎、一瀬裕司

【交代】 40分：西村→松行柊人

【警告】 60分：一瀬 (ラフ)

【控え】 残間亮、蔡俊広、宍戸康平

【ベンチ】 鈴木修平、秋保盛樹、吉田和朝、船橋富寿、小川修一

【評】

相手は昨年7月のクラブ選手権準決勝で惜敗した相手。カテゴリーが一つ上のチームとはいえ、借りを返したいところ。立ち上がりから波乱を思わせる展開となる。

3分、一瀬がフリーで抜け出してエリア外に飛び出したGKと1対1となり、ファウルを受けてFKに。このプレーで相手GKはいきなりのイエローカードを受ける。ここからのFKは金田が強烈にGK頭上を狙うも、正面過ぎて弾かれる。

8分には阿部が相手DFのミスを突いて身体を入れ替えてループシュートもGKがキャッチ。10分、相手俊足DFが単独ドリブルで左SBの位置から一気に駆け上がってクロス。これがポストの右をわずかに外れるコースでベンチもひやりとする。

一進一退の引き締まった試合の流れを変えたのは一瀬。18分、クサビのパスを受けると素早いターンでDFを置き去りにし、相手GKの動きをよく見てゴールに流し込んで先制点を奪う。

しかし直後の19分、今度は相手工一スが左から2人をドリブルでかわして強烈なミドル。これはバーのわずか上を超えたものの、簡単に打たせては危険

なことをわからせるには十分な威力だった。

25分、三好のスピードに乗った突破からのクロスに阿部がヘッドで合わせるも、ここは相手DFが身体を寄せて枠外に。

前半終了間際の39分、またしても三好がオープンになった左サイドを突破し、相手DFを2人かわしてフィニッシュするも、相手GKがかろうじて脚で防ぐ。

前半は、互いに狙いを持った攻守の駆け引きで、タイトなゲーム展開となつた。相手は左からの攻撃がストロングポイントで、11番のスピード、15番のテクニック、そしてCF10番の決定力が目を引いた。後半はまずはここを抑えたいところ。

後半開始から、右MFの西村に代えて松行を投入。苦しんでいた相手左サイドの攻撃を抑えるため、より相手陣内に押し込むことができれば。

42分、その右からのショートカウンターから茂木がクロスを送るが、惜しくも味方に合わずGKキャッチ。ここから連続攻撃となる。43分には三好が左サイドのキープから落とし、林の強烈なシュートが枠を捉えるもGKがパンチ。44分、一瀬が左CKを三好に合わせるもポストを叩く。

46分、今度は相手の決定機。右CKのこぼれ球からのミドルが左ポストをかすめる。50分にはDFがお見合い状態になったスキを突かれてフィニッシュされるもポスト右へ。流れはめまぐるしく変わる。

54分には追加点の絶好機を迎える。大きなサイドチェンジから抜け出した三好がフリーに。これを見た相手GKが猛然とエリア外へ飛び出す。三好の絶妙のループについて手が出たGK。2枚目のイエローカードで退場になってしまう。

これで相手は10人、しかも控えGKがいないためFPが急きよ枠を守ることに。このことが安心感を植え付けてしまったのか、運動量を上げてきた相手と互角の形勢に。60分、左サイドで松行がキープ、パスを受けた阿部が抜け出して角度のないところからゴールを狙うもポストにはじかれる。直後に一瀬が意図せず相手をアフターで蹴ってしまい警告を受ける。

65分、茂木のクロスを松行が競るも、相手DFがなんとかクリアしてCKに。このCKのこぼれから松行が強いシュートを放つも急造GKがセーブする。67分の右CKを阿部がヘッドでスラすがわずかに右へ。71分には松行のクロスを一瀬ボレーで合わせきれず。

この連続好機をものにできなかつたのが響いた。極めつけは78分、カウンターから一気にゴール前へ送られたボール、阿部がハーフウェイから長躯、飛び出したGKの頭上を越えてゴールに向かう軌道へ入つたものの、ゴールエリアで滑り込みながらボールをキックするも、無情にもバーを越えていく。万歳の姿勢から崩れ落ちるベンチ。触る程度にしておけば・・・というのは結果論、しかたのないプレーではあった。

こうなると流れは相手に傾くもの。終了間際、C K のこぼれ球を押し込まれてついに同点に追いつかれてしまう。直前にD F が押し倒されたように見えたが・・・。

延長なしのP K 戦。同点に沸き立つ相手ベンチ、勝利目前で星を落としたこちらのベンチ、対照的な風景ながら、相手G K は本職ではないことが唯一の救いか。

しかしそうはうまくいかない。こちらは3人連続ではずし、5人目で追いついてサドンデスには持ち込んだものの、最後に力尽きた。

次戦は東北大学現役が相手だったが、評定河原ダービー（？）ならず。P K 戦キッカーは敢えて記載しておきます。次の機会に取り返してくれれば。阿部・蔡・松行・一瀬・金田・林・茂木・遠藤

（記：吉田和朝）

■2015年5月24日(日曜日) 社会人大会3回戦 対仙台大学FC

試合開始：10:00 (40分ハーフ) 宮城県サッカー場Aグラウンド

【結果】 1 – 2 で負け。

【得点者】 一瀬

【アシスト】 阿部

【スタメン】 G K : 残間諒

D F : 茂木淳、知場三周、遠藤巧、林昂佑

M F : 角田譲、松浦弘志、千田遵、三好就英

F W : 阿部英次郎、一瀬裕司

【交代】 45分：知場→蔡俊広、59分：三好→小松天道、65分：千田→松行格人

【警告】 24分：阿部（ラフ）

【控え】 西村翼、宍戸康平

【ベンチ】 鈴木修平、秋保盛樹、吉田和朝、船橋富寿、芦田賢一、知場啓志

【評】

相手は仙台大学の学生Cチーム。フィジカルでは相手が上でしたが、試合はどちらが勝ってもおかしくない展開でした。

立ち上がりの4分、左サイドを破られてクロスを中心で合わされて先制を許します。

7分になって左サイドを起点に、松浦が初のミドルシュートを放つも枠を捉えきれず。24分、阿部がアフターチャージを取られて警告。

28分、右サイドでの一瀬のキープから角田がフィニッシュに持ち込むもGKキャッチ。32分にはまたしても右サイドから茂木・一瀬・角田と渡って同じように

ミドルを放つとGKがはじいてCKに。これはものにすることができます。

前半は、相手は中盤から単純に両サイドに蹴ってくるやりかたで、序盤の連続CK以外は好機を作れず。こちらは終盤にペースをつかみ、フィニッシュには持ち込めるようになった。相手DFはこちらの左サイドをケアするあまり、右サイドにスペースができ、中央のDFもウォッチャーになりがちなので、左サイドで少ないタッチで崩せればチャンスができそうに思うのだが・・・。

後半立ち上がりの41分、左サイドのFKを素早いリスタートから三好が余裕を持ってクロスを送るも相手GKがキャッチ。43分、阿部が中央でキープからドリブルで仕掛け、鋭いターンで相手を振り切った一瀬へスルーパス。これを一瀬がゴール左へきれいに決めて同点に！

48分には林が左サイドから速いアーリーコロスを送り、一瀬がGKと絡むもシュートはできず。66~67分、立て続けにビッグチャンス。阿部がエリア内で左から突破してクロス。一度はゴールマウスを横切り、二度目は中で合わせるもタイミングがわずかに合わずバーの上。

このままPK戦かと思われた76分、中盤を崩されて決勝点を与えてしまう。最後の決定機を決めきれるところが相手の上回るところか。

残念ながら3回戦で姿を消すことになったものの、存在感は十分に見せることができたのではないか。

(レポート：吉田)

■2015年5月31日(日曜日) 宮城県リーグ第2節 対BOA SORTEさくら

試合開始：12:30 (40分ハーフ) 七ヶ浜サッカースタジアム

【結果】 1-2で負け。

【得点者】 茂木

【アシスト】

【スタメン】 GK：平野渥郎

D F：遠藤巧、村岡優志、芦田健一、林昂佑

M F：蔡優広、知場啓志、田中宏典、宍戸康平

F W：角田譲、松行柊人

【控え】 知場三周、一瀬裕司、金田和鷹、茂木淳、千田遵、三好就英、松浦弘志、大津寄健一

【交代】 知場啓志→茂木淳、田中宏典→一瀬裕司、芦田賢一→千田遵、村岡優志→金田和鷹、蔡優広→三好就英

【警告】 宍戸康平

【ベンチ】 鈴木修平、秋保盛樹

【評】

太陽が当たるところは暑いが、日蔭は浜風が涼しい。サッカーにはまあまあ

の天候だった。場所は七ヶ浜のサッカースタジアム。今日は運営当番でもあった。

今日の試合の先発メンバーは、初めての顔合わせで組んだ。これまで、トーナメントの試合で昨年のメンバーを中心に構成したが、今後のリーグ戦に向けて新しいメンバーでの連係プレーを構築しなければならないこともあった。

前半は、お互い固さもあり様子見て展開した。初めてのメンバーでの顔合わせでもあり、1対1のプレーでは勝っても、その後が思ったようにはつながらないようであった。一方、相手は長年同じメンバーでやってきただけあって、連係プレーには目を見張るものがあった。しばしば、ゴール前で緊張が走る場面があった。

前半17分、自陣ペナルティー・エリア右でバウンドして浮いたボールの処理で、DF宍戸のキックが相手を蹴ったような形になった。当然ながら、ペナルティ・キックとなってしまった。

決まって当然の右隅へのペナルティ・キックを、GK平野が素晴らしいセーブ。ボールは、飛んだ指先にかすって前に落ちて転々とする。折角止めたボールだったが、相手キッカーにこれを蹴り込まれてしまう。惜しい失点だった。

前半30分、32分に茂木と一瀬に交代し、攻撃力を増し得点を狙う。前半に同点に追いつければ楽になるだろうとの思惑は、残念ながら外れた。

しかし、後半開始5分、ゴール前の混戦から茂木が待望の同点ゴール。ゲームの流れもこちらに傾き、勝ち越しある時間の問題と思われたが、なかなか得点できなかつた。逆に、相手がカウンターのワン・チャンスをものにして1-2とリードし、時間は瞬く間に過ぎて終了の笛が鳴った。

このところ3試合とも得点は1点である。なぜ、1点しか取れないか？

DFから一度外へ出して攻撃の起点を作るが、その後はすぐに中央にボールが入る。そのため、中央で勝負をすることになる。相手がどんなチームでも、中では決定的なチャンスは、そうそう作れない。これが、得点の少ない理由のように思える。中盤で一度中に入ることは良い。その後は、グランドを広く使い、相手DFをタッチライン付近までおびきよせて、そこで数的優位で突破して、中に入れる。中のDF数が少なければ少ないとほど得点のチャンスは飛躍的に大きくなる。(昨年度は、そのパターンが多かった)

東北クラブのメンバーは他のチームに比べて、若い選手が多い。前半を互角に戦えば、後半は体力のある方が有利なのは明らか。相手チームにとって、体力のあるチームに外へおびきだされて、走らせられたらまたもんじやないと想像するのに難くない。しかし、残念ながらこの3試合とも自分達の利点を活かすことができなかつたようだ。逆に、体力を消耗しなかつた相手は、これまで培ったチーム力で決勝点を挙げることができた。

まだ、リーグ戦も始まつたばかりであり、トーナメントも「クラブチーム選手権」が残っている。これまでの試合を通し体で覚えたことに加えて、自分たちのアドバンテージを発揮できれば、3点は取れる。3点取って負けることはそうは無いはずである。

今日は、スタッフが少ない中、運営当番を手伝ってくれた知場三周君、松浦弘志君、大津寄健一君ありがとう。無事終えることができ助かりました。

(記：鈴木修平)

■2015年7月26日(日曜日) 宮城県リーグ第3節 対一高済美

試合開始：12:00 (40分ハーフ) アディダス・スポーツパーク

【結果】 1 – 2 で負け。

【得点者】 角田

【アシスト】 知場(啓)

【スタメン】 G K : 平野渥郎

D F : 知場三周, 金田和鷹, 遠藤巧, 蔡亮成

M F : 千田遵 , 三好就英, 阿部英次郎

F W : 小松天道, 一瀬裕司, 田中宏典

【控え】 角田譲, 知場啓志, 児島征二

【交代】 小松天道→知場啓志, 田中宏典→角田譲, 一瀬裕司→児島征二

【警告】 なし

【ベンチ】 鈴木修平, 秋保盛樹, 船橋富寿, (松本純, 佐藤遙香, 黒沼桃子)

【評】

2ヶ月近く間が開いて、梅雨明け最初の試合は、近くの道路の温度計が38°Cという報告もある真夏日となつた。対戦相手は「一高済美」。昨年この同じ会場で逆転負けを喫しているだけに、気を締めて臨んだ。

暑い中、両チームともよく動き、だれがちな試合を見ごたえのある試合にしていた。前半は、やや東北クラブが優勢のように見えたが、0 – 0で折り返す。

後半開始早々、知場(啓)が左から持ち込みゴールライン近くからセンタリング。中央には何人かいたが、ボールは角田の足下にきた。ゴール前には相手D Fが何人かいたようだが、弾丸ライナーのシュートは豪快にゴール右に突き刺さつた。交代してまだ動きにキレのある2人のコンビネーションが光った。

これで、東北クラブに流れがきたが再三のゴール・チャンスをものにできなかつた。一方、点差を開かせなかつた一高済美は、体力を消耗した東北クラブの一寸した連携のほころびをつき、数少ないチャンスを2度ものにした。相手チームの精神力には拍手を送りたい。昨年に続き逆転負けとなり、借りを返すのは次回のクラブチーム選手権(8/9)となつた。

(記：鈴木修平) ■2

015年8月9日(日曜日) 全国クラブチーム選手権3回戦 対一高済美SC

試合開始：14:00 (30分ハーフ) 宮城県利府サッカーフィールドB

【結果】 4 - 1 で勝ち。

【得点者】 松浦弘志(前半12分), 阿部英次郎(後半12分,PK), 蔡亮成(後半17分), 一瀬裕司(後半29分)

【アシスト】 1点目(なし), 2点目(PKをとったのは茂木), 3点目(なし), 4点目(蔡亮成)

【スタメン】 G K : 平野屋郎

D F : 知場三周, 金田和鷹, 遠藤巧, 林昂佑

M F : 松浦弘志, 蔡亮成, 千田遵

F W : 茂木淳, 阿部英次郎, 三好就英

【控え】 角田譲, 村岡優志, 松行格人, 蔡優広, 一瀬裕司, 田中宏典, 児島征二

【交代】 三好就英→角田譲, 松浦弘志→一瀬裕司, 知場三周→蔡優広, 千田遵→松行格人

【警告】 なし

【ベンチ】 鈴木修平, 秋保盛樹, 船橋富寿, 桑原卓哉, 阿部健康, 知場啓志、吉田和朝, 小川修一

【評】 (後報)

■2015年8月16日(日曜日) 全国クラブチーム選手権4回戦 対ソニーSC 試

合開始：12:00 (30分ハーフ)

宮城県利府サッカーフィールドB

【結果】 0 - 3 で負け。

【得点者】 なし

【アシスト】 なし

【スタメン】 G K : 平野屋郎

D F : 知場三周, 金田和鷹, 遠藤巧, 林昂佑

M F : 松浦弘志, 蔡亮成, 千田遵

F W : 茂木淳, 阿部英次郎, 三好就英

【控え】 角田譲, 村岡優志, 松行格人, 蔡優広, 一瀬裕司, 穴戸康平

【交代】 三好就英→角田譲, 松浦弘志→一瀬裕司, 知場三周→蔡優広, 千田遵→松行格人, 林昂佑→穴戸康平

【警告】 なし

【ベンチ】 鈴木修平, 秋保盛樹, 船橋富寿, 吉田和朝, 嶺岸優

【評】 後報

■2015年8月23日(日曜日) 宮城県リーグ第4節 対六郷クラブ

試合開始：14:00 (40分ハーフ) 松島総合運動公園

【結果】 3 – 1 で勝ち。

【得点者】 松浦（3分）、一瀬（71分）、松行（73分）

【アシスト】 なし

【スタメン】 G K : 知場三周

D F : 村岡優志・遠藤巧・金田和鷹・宍戸康平

M F : 三好就英・松行柊人・蔡亮成・松浦弘志

F W : 阿部英次郎・一瀬裕司

【控え】 木村燎平・蔡優広・千田遵・角田譲・茂木淳

【交代】 村岡→茂木（40分）、宍戸→木村（40分）、松浦→蔡（優）（67分）、
一瀬→角田（72分）、蔡（亮）→千田（73分）、

【警告】 なし

【ベンチ】 秋保盛樹・吉田和朝・船橋富寿・小川修一・佐藤遙香・黒沼桃子

【評】

各チーム消化試合数が異なるものの、相手は3勝1分の負けなしで首位のチーム。1部からの降格組だけに、簡単な相手ではなかった。4-3-3にも見える、敢えてバランスを崩したような位置取りから、ワイドな展開とDFラインの裏を突くのが狙いのようだ。

開始早々の3分、右サイドの崩しから松浦がぎりぎりのタイミングでクロスを上げる。腰が回りきらなかつたのが幸いし、バーをかすめながら逆サイドのネットを揺らす。本人は「クロッシャー」とかなんとか言っていたが、GKミス・・・ではないことにしよう。何はともあれ先取点はめでたい。

その後も効果的な攻撃は続く。11分、右CKから蔡（亮）がドンピシャのヘッドもGKがかろうじて防いでバーを叩く。これに反応した遠藤がダイビングヘッドするも今度はGK正面。

20分に右SBの宍戸が不用意なファウルで警告を受けたあたりから流れが変わってくる。変則フォーメーションの相手に対し、DFラインがスライドした逆を突かれて起点を作られるパターンが続き、相手に好機が生まれていく。前線には1枚か2枚しかいないので、DFはカバーしあうことが可能なのだが、ポジションにこだわるあまりか、ボール保持者への寄せが甘く、簡単にクロスを入れられてしまう。

予想通りこれが28分の失点につながった。相手の右クロスに対して、数的には同数の状態ではあったが、セカンドボールを拾われてフィニッシュに持ち込まれ、DFに当たってコースが変わる不運も重なって同点に追いつかれる。

これは急造GK知場の責任ではなく、DFのスキを突かれたもの。ちなみに、知場は後半の「やらかし」以外は危なげないプレーを見せ、勝利に貢献した（と言っておこう）。

後半開始から、両SBを変えて相手に応じたDFラインとする。この日はこれが奏功し、特に左サイドの茂木が再三の駆け上がりを見せて相手を押し込み、徐々にペースをつかむことに成功した。

41分、右サイドを3人の連係で崩し、最後は一瀬が持ち込んでフィニッシュするも、ミートせず強いシュートにはならなかった。その後もボール回しのテンポが良くなってきたものの、なかなか決定機に持ち込めない。

63分、右サイドにポジションチェンジしていた三好からのクロスに一瀬がヘッドで合わせるも、相手GKがかろうじて防ぐ。

67分にはゴール前20mの地点で、自らもらったファウルを蔡（亮）がFKで狙うが、ほんのわずかにバーを越える。続く68分にも交代早々の蔡（優）のクロスからフィニッシュに持ち込むもバーの上。

ゴールのにおいがし始めた71分、自陣内のFKを金田がいつものロングフィード。阿部の落としから松行がシュート、GKにはじかれたところを一瀬が見逃さずに押し込んで貴重な勝ち越し点をゲット。脚をつりかけていた一瀬、最後のチャンスに身体を投げ出したゴールは見事！・・・直後に痙攣を起こしてゴール前で動けなくなったのもご愛嬌。

その一瀬に代えて出場した角田が大仕事（？）をやってのける。蔡（亮）のミドルをゴール前で壁となって防ぐ（？）と、その「落とし」に反応した松行が強烈なミドルを突き刺して、決定的な3点目を奪う。最初のシュートはGKに防がれると判断したのか？？・・・本人は「アシスト」を主張していたが、当然却下させていただきます。

なにはともあれ、これで4戦して2勝2敗の五分となり、暫定ながら最下位は脱出した模様。首位を倒して、かつ消化試合が少ないだけに、まだまだ上位を狙える位置につけたといつて良い試合でした。なにより、全員（といっても若手）出場できたのはよかったです。

（記：吉田和朝）

■ 2015年9月6日(日曜日) 宮城県リーグ2部第5節 対ARDORE桑原

試合開始：10:00 (40分ハーフ)

アディダス スポーツパーク

【結果】 3 - 0 で勝ち。

【得点者】

【アシスト】

【スタメン】 G K : 平野渥郎

D F : 大津寄健一, 茂木淳, 金田和鷹, 遠藤巧

M F : 三好就英, 木村燎平, 蔡亮成

F W : 千田遵, 角田譲, 西村翼

【控え】 残間諒, 知場三周, 知場啓志, 松浦弘志,

村岡優志, 蔡優公, 阿部英次郎, 野口憲太

【交代】

【警告】

【ベンチ】 秋保盛樹，船橋富寿，小川修一，佐藤遙香，黒沼桃子

※詳細は後報

■**2015年9月27日(日曜日)** 宮城県リーグ2部第6節 対BOA SORTE さくら試合開始：9:30 (40分ハーフ)

松島フットボールセンター人工芝1

【結果】 3 – 3 で引き分け。

【得点者】 三好就英(前半32分)，一瀬裕司(前半37分)，一瀬裕司(後半11分)

【アシスト】 1点目(なし)，2点目(木村燎平)，3点目(茂木淳)

【スタメン】 G K : 遠藤巧

D F : 金田和鷹，村岡優志，林昂佑

M F : 松浦弘志，三好就英，千田遵，木村燎平

F W : 茂木淳，角田譲，一瀬裕司

【控え】 知場三周，児島征二，西村翼

【交代】 村岡優志→知場三周，一瀬裕司→児島征二，三好就英→西村翼

【警告】 なし

【ベンチ】 鈴木修平，秋保盛樹，船橋富寿，小川修一，岩淵雄太

【評】

雨上がりだが陽射しも良く、一寸汗ばむくらいで天候は上々と言えた。

松島フットボールセンターに朝8時集合ということで、早起きを余儀なくされたことは皆の顔を見れば一目瞭然であった。

9時30分キックオフ。グラウンドも良好なこともあります、前半は30分近くまで密度の濃い締まった試合展開となつた。相手チームの「BOA SORTE さくら」は、試合を重ねる毎にチームプレーに磨きがかかるつているように思える。

均衡が破れたのは、前半32分。この日何回か左から得意のドリブルでD Fを崩しチャンスを作ってきた三好が、この時は右からのコーナーキックをペナルティーエリア左角辺りで1トラップして強蹴。ボールはゴール左上隅へ、キーパーが反応できぬくらい早かった。

続けて前半37分、C B木村が相手D Fの攻撃から守りへの態勢がまだ整わない所へロングパス、絶妙なパスを受けたのは一瀬。一瀬はD Fに囲まれていたにも拘らず、振りむいた時には目の前にG Kという状況を作った。右足から放たれたボールは狙い通りゴール右隅を揺らした。体をかわし一瞬にしてフリーになるこのプレーは観客を魅了して止まない。

後半に入つても東北クラブの攻勢は続き、再びゴール前に迫る。後半11分、右からドリブルで相手を抜き去り、ペナルティーエリアぎりぎりまで出てきたキーパーまでもかわした茂木は、ゴール前に低く速いラストパスを送る。クリ

アしようとするD Fと飛び込んだ一瀬が交錯する。見事ポールはゴールへ突き刺さっていた。

これで3-0となり、監督は勝利を確信した。残り20分を切ったところで控えのメンバーに交代し、終了を待つだけであった。ところが、28分に1点を返される。まだ余裕があった。しかし、31分に2点目を返されるとイヤな予感が脳裏をよぎる。こういうものは選手にも伝搬するのであろうか、ロス・タイムにそれが現実となってしまう。3-0から後半残り15分で3点を献上し、3-3の引き分けとなった。

後半に入ったら、相手チームはスタミナが切れるのではないかと踏んでいたが、最後まで切ることは無かった。2点は仕方ないとして、最後の3点目は、中盤左からフリーでゴール前に上げられ、ゴール前もフリーでヘディングを決められた。フリーで蹴らせなかつたら入らなかつた可能性が強い。

もう一つ、守りに入るとどんどん悪い方へ流される傾向にある。これを断ち切る方法の一つは「攻撃」であろう。D Fの裏へ大きく蹴って一気にゴールを脅かす。1点入ればムードが一変するのは皆経験済みだろう。「攻撃は最大の防御なり」。残り4試合、2~5位は混戦である。どういう結果になるか目が離せない。

【鈴木修平記】

■2015年10月18日(日曜日) 宮城県リーグ2部第7節 対一高済美

試合開始：14:00 (40分ハーフ)

宮城県サッカー場Cグランド

【結果】4-1で勝ち。

【得点者】茂木淳(前半32分), 角田譲(前半37分), 角田譲(後半3分),
遠藤巧(後半20分)

【アシスト】1点目(なし), 2点目(蔡亮成), 3点目(一瀬裕司),
4点目(なし)

【スタメン】G K：平野屋郎

D F：金田和鷹, 木村燎平, 遠藤巧, 林昂佑

M F：松浦弘志, 蔡亮成, 宍戸康平

F W：茂木淳, 角田譲, 一瀬裕司

【控え】村岡優志, 三好就英, 千田遵, 小松天道, 大津寄健一

【交代】宍戸康平→千田遵, 松浦弘志→三好就英, 角田譲→小松天道,
一瀬裕司→村岡優志

【警告】なし

【ベンチ】鈴木修平, 船橋富寿, 吉田和朝, 高橋一平, 佐藤遙香

【評】

天気は秋晴れ、プレーヤには少し暑いが観客には絶好の日和と言えた。

今日の相手は、「一高済美」。前回は勝っているが、過去、何度も先制しな

がら苦い思いをさせられた相手である。

立ち上がり、お互い流れに乗れず低調な滑り出しで、散発的な攻撃の試合展開が約20分ほど続いた。

しかし、徐々に盛り上がりを見せ、どちらが先制するかという状況になっていった。先制したのは、東北クラブだった。前半32分、DF金田は左サイドの茂木が良い位置にいることを見極めて、相手DFの後ろに速いローピングのパスを出す。茂木のトップ・スピードは衰えること無く、相手DFを振り切り、ペナルティーエリア付近から左足を強蹴。地を這うような低く速いボールは、キーパーに反応する時間を与えなかつた。見送るしかなかつたボールは、ゴール右ポストに当たってからゴールネットを揺らした。滅多に見られない「技あり」のシュートだった。

この1点で、流れは東北クラブに傾いた。開始早々の動きとは見違えるようなプレーが、随所に何度も見られた。そして37分、この日何度もスピードあるプレーでチャンスを作ってきた角田に、センターライン付近から蔡の絶妙なキラーパスが出る。角田はこれを持ち前のスピードで、一瞬の間に自分のボールにすると、果敢に飛び出してきたキーパーとの間合いを見極めタッチ、ボールはゴール右に正確に吸い込まれていった。

前半で2-0。しかも、得点の時間帯も同じ。前節のことが脳裏を横切る。ハーフ・タイムの間も、2-0の楽勝ムードは無かつた。

後半開始早々の3分、右へ開いていた一瀬にいい形でパスが通る。一瀬はドリブルで中に切り込み、DFをかわして左足でシュート。コースが少し外れゴールキックになると誰もが思ったその時、普通なら間に合わない距離から猛然と飛び込んできた角田、スライディング・シュートとなってボールはゴールに突き刺さった。3-0。

しばらく攻防が続いた、後半16分、DFのちょっとした乱れを突かれ1点を失う。3-1。これって前回と同じ全くパターンではないか？ベンチに嫌なムードが漂う。

しかし、攻め続けたことが功を奏し、後半20分、一瀬のコーナーキックを相手DFがクリアした。ボールがゴール前でバウンドするその上がり鼻を、DFの遠藤がジャスト・ミート。ボレーシュートのように鮮やかに決まり、ベンチから「オーッ！」という歓声が上がつたほどであった。

4-1、これで勝負はついた。

残り3試合、改善できるところを修正し、果敢に得点を狙い、良い試合をし、良い結果が残ることを期待したい。

【鈴木修平記】

■2015年11月1日(日曜日) 宮城県リーグ2部第8節 対アルドーレ桑原

試合開始：10:00 (40分ハーフ)

宮城県サッカー場Cグランド

【結果】 0 – 2 で負け。

【得点者】 なし

【アシスト】 なし

【スタメン】 G K : 平野屋郎

D F : 遠藤巧, 茂木淳, 林昂佑, 大津寄健一

M F : 松浦弘志, 蔡亮成, 三好就英

F W : 西村翼, 高橋一平, 小松天道

【控え】 残間諒, 千田遵, 知場啓志

【交代】 大津寄健一→千田遵, 小松天道→知場啓志

【警告】 蔡亮成, 西村翼

【ベンチ】 鈴木修平, 秋保盛樹, 船橋富寿, 小川修一, 佐藤遙香, 小川譲次

【評】

日ごとに寒くなってきている昨今だが、今日は先週以上の快晴、秋晴れだった。今日の対戦相手は「アルドーレ桑原」、不本意な成績を挽回するために今日は相当気合を入れてくるだろうと言うことは容易に想像できた。東北クラブもいい成績を残すためにはぜひ勝っておきたい相手であった。

開始早々から、相手チームは緻密な試合運びで中盤を制し、最後尾のD F の裏に長いパスを通し、再三東北クラブのゴールを脅かしてきた。

一方、東北クラブはいつもと違うメンバー構成で臨んだためか動きがぎくしゃくしてプレーがなかなか繋がらなかつた。D F は相手のスピードによく対応していましたが押され気味であることは明らかであった。前半 7 分、相手は右サイドライン近くでフリーキックを得る。強烈なボールは空中でドロップし、キーパーの目測を誤らせゴールとなってしまった。

前半終了間際に、ゴールとなって当たり前の場面が 2 度もあったが、幸運にも入らなかつた。0 – 1 ならば、これまで 2, 3 点は得点しているチームなので、後半に十分追いつき、逆転できるであろうと思った。

しかし、攻撃の起点がなかなかできず攻めあぐねる時間が続いた。このようなチームに個人技で勝負してもなかなか崩せるものではない。普段はもらわなない「警告」を 2 人ももらう事態も発生し、最後まで流れを変えることができなかつた。後半 3 6 分に 0 – 2 となり、逆転の願いは遠のいた。

2 点の失点で抑えたことは、立派である。一方、無得点だったことは今後の課題となろう。気心の知れた同士なら阿吽の呼吸でのプレーが可能だらうが、そうでない場合は、セオリーで得点を狙うしかないであらう。攻撃の起点を中盤のサイドに置き、F W は D F の裏に走り、後に空きスペースを作る。F W に出すか、空きスペースに入ってきた者に出すかは状況次第だ。その繰り返しが得点に結びつくであらうことは誰でも知っていることだ。それが皆の暗黙の了

解事項となることで、プレーが得点シーンに結びつくであろう。そして、最後は気力で相手に負けないこと。これに尽きる。

【鈴木修平記】

■ 2015年11月8日(日曜日) 宮城県リーグ2部第9節 対六郷クラブ

試合開始：10:00 (40分ハーフ)

宮城県サッカー場Cグランド

【結果】 1 – 2 で負け。

【得点者】 なし(1点は相手のオウンゴールによるもの)

【アシスト】 なし

【スタメン】 G K : 平野渥郎

D F : 金田和鷹, 茂木淳, 林昂佑, 宮戸康平

M F : 千田遵, 蔡亮成, 西村翼

F W : 角田譲, 一瀬裕司, 高橋一平

【控え】 松浦弘志, 三好就英, 野口憲太

【交代】 高橋一平→三好就英, 千田遵→松浦弘志, 宮戸康平→野口憲太

【警告】 蔡亮成, 宮戸康平

【ベンチ】 鈴木修平, 秋保盛樹, 船橋富寿, 小川修一, 小川譲次

【評】

今年はこれまで珍しく雨の試合が無かった。昨日の天気予報では、午前中は何とか持つような感じだったが、生憎朝から冷たい雨で試合が思いやられた。

今日の対戦相手は、六郷クラブ。1部から降格してきたが、既に2部1位を確定し来期は1部に復帰することが確実となっている。対して、東北クラブはこれに勝てば1部の入れ替え戦も可能になるため、是が非でも勝ちたい相手であった。

冷たい雨の中、試合は始まった。相手チームは最初から飛ばしてきた。まだ動きが緩慢な東北クラブに対し、畳みかけるようなスピードある攻めを何度も見せた。D Fは危ない場面はあるものの、スピードに負けずによく防いだ。

しかし、前半17分、遂に真ん中をスピードある連携プレーで割られる。好守でゴールを守ってきた平野もこれはどうしようもなかつたろう。

勢いづいた相手は22分、1点目と同じような形で得点を重ねる。チームプレー、連係プレーには素晴らしいものがあり、これは長年の練習の賜物であり、我々とは一日の長がある。

後半に入ると、東北クラブも動きが見違えるように良くなつて来る。中盤から外へ展開し、勝負して中に切り込んでくる攻めは何度もゴールシーンを連想させたが結実しなかつた。しかし、後半18分、右からのコーナーキックからゴール前で混戦になった。固唾を呑んで見ていると待望のゴール！ベンチでは「誰が入れたの？」 「・・・」 自陣に戻る選手を見ても、祝福されている選

手がない。

後で聞けば、オウンゴールだったとのこと。

その後もチャンスは何度かあったが、同点・逆転はならなかつた。たまには我々も劇的な逆転の快感を味わつてみたいものである。

残るは1試合。いい試合で締めくくろう。

【鈴木修平記】

■2015年11月15日(日曜日) 宮城県リーグ2部第10節 対多賀城FC

試合開始: 10:00 (40分ハーフ) アディダス・スポーツパークグランド

【結果】 3-1で勝ち。

【得点者】 高橋一平(前半7分), 蔡亮成(前半15分), 茂木淳(後半8分)

【アシスト】 三好就英(1点目), 林昂佑(3点目)

【スタメン】 GK: 平野屋郎

D F: 金田和鷹, 遠藤巧, 林昂佑, 木村燎平

M F: 蔡亮成, 千田遵, 三好就英

F W: 阿部英次郎, 茂木淳, 高橋一平

【控え】 残間諒, 知場三周, 村岡優志, 野口憲太, 蔡優広, 角田譲, 一瀬裕司, 宍戸康平

【交代】 高橋一平→角田譲, 千田遵→村岡優志, 林昂佑→野口憲太、阿部英次郎→一瀬裕司

【警告】 木村燎平

【ベンチ】 鈴木修平, 秋保盛樹, 吉田和朝, 船橋富寿, 小川修一, 黒沼桃子

【評】

前日ほどの雨ではないが、今日も朝から降ったり止んだりの雨模様であった。今日は県リーグ2部の第10節、最終戦であった。戦績も勝てば2位、負ければ4位という、いやが上にも盛り上がる状況にあった。

10:00キックオフ。雨は止んでくれたが、ショート・パスは途中で止まる。ロング・パスは目の前で急に伸びる。人工芝で水はけは良いはずなのに、実にやりにくいグランド・コンディションだった。

開始早々、このグランド・コンディションに慣れずに戸惑っているうちに、相手チームのFWがするすると左から抜けて、ゴールライン間際でD Fを切り返し、センタリング。あれよあれよと見ているうちに、ゴールの右サイドに・・・入ってしまった。選手もベンチも呆然とする1点だった。0-1。

しかし、時間はまだまだあり焦りは無かつた。更に相手チームは、今日は10人で戦わなければならぬ状況にあった。グランド・コンディションにも徐々に慣れ、ようやく攻撃のリズムが噛み合いました。前半7分、左ペナルティーエリアの外でフリーキックを得た三好がゴール前に速いボールを出す。D Fを置き去りにしてジャンプしたのは高橋一平、高い打点でジャスト・ミートした

ボールにはキーパーも反応できなかつた。上背とスピードを生かした素晴らしいヘディングシュートだった。得点した時間も良かった。1－1。

数的優位もあり、しばらく東北クラブの攻勢が続く。前半14分には、相手が攻撃に転じようとしたボールをMFが2人がかりで阻止。蔡亮成はこのボールをコントロールし、ゴールまでの正面が空いていると見るやいなや右足を強蹴。地を這うような弾丸ライナーシュートはゴールキーパーの手をかすめたがゴール。晴れていればキーパーに弾かれたかも知れないが、湿って重いボールはそれを許さなかつた。2－1。

後半に入つて、早めに3点目がほしいところだが相手も10人とは思えない動きで善戦する。後半7分、左から林昂佑が上がりセンタリング、ゴール前で茂木がこれをヘディング。待望の追加点だった。3－1。

今日は最終戦ということもあり、いつもより多く選手が集まってくれた。しかし全員を出したかったが叶わなかつた。幸い、勝つて県リーグ2部で2位という成績を収めることができた。選手のみんな、スタッフの方々、支えていたいただいた皆様に感謝申し上げます。

県リーグ1部の入替え戦をもう1試合することができます。昨年に引き続き入替え戦に出られるとは、喜ばしい限りで来年も楽しみです。

【鈴木修平記】

■2015年12月20日(日曜日) 宮城県リーグ入替戦

対東六クラブ・ノスタルジア戦

試合開始：12:00 (40分ハーフ) 宮城県サッカー場Cグランド

【結果】0－3で負け。

【得点者】なし

【アシスト】なし

【スタメン】GK：残間諒

DF：金田和鷹、村岡優志、林昂佑、宍戸康平

MF：千田遵、茂木淳、松浦弘志

FW：西村翼、角田譲、一瀬裕司

【控え】知場三周、知場啓之

【交代】村岡優志→知場三周、西村翼→知場啓之

【警告】松浦弘志

【ベンチ】鈴木修平、秋保盛樹、吉田和朝、船橋富寿、小川修一、岩淵雄太、嶺岸優、小川譲次

【評】

今年最後の試合が、去年と同じく「入れ替え戦」となつた。天気は快晴、しかし寒い。例年ない暖冬と言われているが風があると流石に寒い。

対戦相手は、「東六クラブ・ノスタルジア」。お互い初めての顔合わせで、まずは小手調べといった雰囲気で始まつた。相手チームは最終ラインから中盤

へ、中盤から前線へとボールがうまく繋がりチャンスの数はこちらよりはるかに多いように見えた。

一方、東北クラブの方はボールがなかなか繋がらず、単発な攻めが多かった。試合毎にメンバーが変わるので、致し方ないところである。それでも、個人技とパスワークで何度かチャンスを作ることができたのは来年度につながる成果であろう。

戦力は相手の方が一枚上手のように見えたが、なかなか得点に至らず後半34分まで0-0の均衡が続いた。一点入れば・・という期待がベンチにも走った時、均衡が破れる。この1点で相手チームは勢いがつき本来の力を発揮して、立て続けに得点を重ね3点差とし1部残留を勝ち取った。

メンバーが固定しないというデメリットをメリットに変える工夫をして来年も頑張ろう。

今年一年、ご苦労様でした。選手の皆さん、スタッフの皆さん、関係者の方々にお礼を申し上げます。良いお年を！

【鈴木修平記】



2015年12月20日 対 東六ヶクラブノスタルジア 宮城県サッカー場Cグランド

第39回 宮城県サッカーリーグ2部 成績表

	六郷クラブ	東北クラブ	ARDORE桑原	一高済美SC	多賀城FC	BOAさくら
六郷クラブ		1 - 3 ● 2 - 1 ○	1 - 0 ○ 3 - 2 ○	1 - 1 △ 3 - 1 ○	3 - 1 ○ 2 - 2 △	2 - 0 ○ 1 - 0 ○
東北クラブ	3 - 1 ○ 1 - 2 ●		3 - 0 ○ 0 - 2 ●	1 - 2 ● 4 - 1 ○	3 - 0 ○ 3 - 1 ○	1 - 2 ● 3 - 3 △
ARDORE桑原	0 - 1 ● 2 - 3 ●	0 - 3 ● 2 - 0 ○		3 - 3 △ 4 - 1 ○	0 - 4 ● 2 - 1 ○	5 - 3 ○ 4 - 2 ○
一高済美SC	1 - 1 △ 1 - 3 ●	2 - 1 ○ 1 - 4 ●	3 - 3 △ 1 - 4 ●		0 - 0 △ 0 - 3 ●	3 - 2 ○ 1 - 2 ●
多賀城FC	1 - 3 ● 2 - 2 △	0 - 3 ● 1 - 3 ●	4 - 0 ○ 1 - 2 ●	0 - 0 △ 3 - 0 ○		3 - 0 ○ 2 - 2 △
BOAさくら	0 - 2 ● 0 - 1 ●	2 - 1 ○ 3 - 3 △	3 - 5 ● 2 - 4 ●	2 - 3 ● 2 - 1 ○	0 - 3 ● 2 - 2 △	

第39回 宮城県サッカーリーグ2部 順位表

順位	チーム名	試合数	勝ち	負け	分け	得点	失点	得失点	勝ち点
1	六郷クラブ	10	7	1	2	19	11	8	23
2	東北クラブ	10	5	4	1	22	14	8	16
3	ARDORE桑原	10	5	4	1	22	21	1	16
4	多賀城FC	10	3	4	3	17	15	2	12
5	一高済美SC	10	2	5	3	13	23	-10	9
6	BOASORTEさくら	10	2	6	2	16	25	-9	8

得点王：菅原 義豪(六郷クラブ) : 9点

アシスト王：

第39回 宮城県サッカーリーグ2部個人成績表 得点ランキング

順位	氏名(チーム名)	ポイント
1	菅原義豪(六郷)	9
2	鈴木崇俊(多賀城)	8
3	川村直大(桑原)	6
4	三上晃一(さくら)	5
4	一瀬裕司(東北)	5
4	山口田馬(桑原)	5
7	及森善弘(一高)	3
7	角田 謙(東北)	3
7	千葉洋祐(さくら)	3
7	茂木 淳(東北)	3
7	渡邊秀昌(さくら)	3
12	相沢浩也(六郷)	2
12	寺崎容平(多賀城)	2
12	眞館裕也(六郷)	2
12	阿部英次郎(東北)	2
12	斎藤義行(六郷)	2
12	宇野哲秋(桑原)	2
12	大橋洋介(一高)	2
12	澤 和宏(桑原)	2
12	小松 淳(さくら)	2
12	白川裕貴(多賀城)	2
12	津島 輝(桑原)	2
12	佐藤郁哉(一高)	2
12	佐藤恭哉(六郷)	2
12	松浦弘志(東北)	2
26	藤原稔英(一高)	1
26	藤長久人(さくら)	1
26	遠藤勇樹(多賀城)	1
26	伊藤敬文(一高)	1
26	三好就英(東北)	1
26	村山達也(一高)	1
26	関川雄介(桑原)	1
26	高橋恒史(一高)	1
26	佐藤優基(桑原)	1
26	沓澤 功(一高)	1
26	沼田直樹(多賀城)	1
26	針生大作(六郷)	1
26	遠藤 巧(東北)	1
26	佐々木悠輔(一高)	1
26	剣重輝一(多賀城)	1
26	白濱真仁(桑原)	1
26	千葉佳祐(さくら)	1
26	関晃太郎(桑原)	1
26	曲竹 勝(さくら)	1
26	鈴木竜樹(多賀城)	1
26	浦山義人(多賀城)	1
26	蔡 亮成(東北)	1
26	菊地将徳(桑原)	1
26	松行格人(東北)	1
26	高橋一平(東北)	1
26	木村燎平(東北)	1

アシストランキング

順位	氏名(チーム名)	ポイント
1	佐藤恭哉(六郷)	3
1	鈴木崇俊(多賀城)	3
1	菅原義豪(六郷)	3
1	鈴木竜樹(多賀城)	3
5	小松 淳(さくら)	2
5	茂木 淳(東北)	2
5	三好就英(東北)	2
5	木村燎平(東北)	2
5	針生大作(六郷)	2
5	渡邊秀昌(さくら)	2
5	佐藤郁哉(一高)	2
5	津島 輝(桑原)	2
5	片山勇太(桑原)	2
5	沓澤 功(一高)	2
5	原田圭佑(桑原)	2
16	千田 謙(東北)	1
16	佐藤優基(桑原)	1
16	祭 亮成(東北)	1
16	金田和鷹(東北)	1
16	知場啓志(東北)	1
16	浦山大輔(多賀城)	1
16	阿部英次郎(東北)	1
16	菊地将徳(桑原)	1
16	村山達也(一高)	1
16	大橋洋介(一高)	1
16	千葉洋祐(さくら)	1
16	藤長久人(さくら)	1
16	白川裕貴(多賀城)	1
16	山口由馬(桑原)	1
16	剣重輝一(多賀城)	1
16	伊藤敬文(一高)	1
16	三上晃一(さくら)	1
16	佐々木悠輔(一高)	1
16	阿部智成(桑原)	1
16	川村直大(桑原)	1
16	一瀬裕司(東北)	1
16	山田洋平(さくら)	1
16	岩崎克彦(桑原)	1
16	釜石 宜(さくら)	1
16	佐々木誠也(六郷)	1
16	林 昇佑(東北)	1
16	松浦弘志(東北)	1
16	太田善貴(さくら)	1
16	遠藤 巧(東北)	1
16	高橋恒史(一高)	1

